

データストアの管理

- ・データストアの管理(1ページ)
- ・データストアの追加, on page 2
- データストアの編集 (3ページ)
- •データストアのマウント (3ページ)
- ・データストアのマウント解除 (4ページ)
- •データストアの削除 (5ページ)
- ・部分的にマウント解除されたデータストアの回復(6ページ)

データストアの管理

データストアは、ストレージの使用状況とストレージリソースの管理のためにHX Data Platform で使用される論理コンテナです。データストアは、ホストが仮想ディスクファイルと他のVM ファイルを配置する場所です。データストアは、物理ストレージデバイスの仕様を非表示に し、VM ファイルを格納するための統一モデルを提供します。

HX Connect UI または HX Data Platform Plug-in UI から、データストアの追加、リストの更新、 名前とサイズの編集、削除、マウントおよびマウント解除ができます。マウント解除された非 ペアデータストアの名前は変更できません。データストアの残りは、vCenter 管理者インター フェイスによってサポートされています。

C)

- **重要** スタートアップ遅延を回避し、複製の保持を維持するために、データストアの数をできる だけ少なくしておきます。
 - •10個を超えるデータストアを設定すると、スタートアップ遅延が過度に発生する可能性が あります。

ステップ1 インターフェイスを選択します。

vSphere Web クライアントナビゲータから、[vCenter Inventory Lists] > [Cisco HyperFlex Systems] > [Cisco HX Data Platform] > [*cluster*] > [Manage] > [Datastores] の順に選択します。

データストアの追加

•HX Connect から、[データストア(Datastores)]を選択します。

ステップ2新しいデータストアを作成するか、または既存のデータストアを選択して、オプションを表示します。

- •新しいデータストアの作成
- データストアのリストの更新
- •データストア名とサイズの編集
- データストアの削除
- ホスト上のデータストアのマウント
- ホストからのデータストアのマウント解除

データストアの追加

論理コンテナ内のデータストアは、ファイルシステムと同様に、物理ストレージの仕様を非表示にし、VMファイルを格納するための統一モデルを提供します。ISOイメージとVMテンプレートを保存するためにデータストアを使用することもできます。

ステップ1 インターフェイスを選択します。

vSphere Web クライアントナビゲータから、[vCenter Inventory Lists] > [Cisco HyperFlex Systems] > [Cisco HX Data Platform] > [*cluster*] > [Manage] > [Datastores] の順に選択します。

•HX Connect から、[データストア(Datastores)]を選択します。

- ステップ2 データストアを作成するように選択します。
- **ステップ3** データストアの名前を入力します。vSphere Web クライアントでは、データストア名に 42 文字の制限があ ります。各データストアに固有の名前を割り当てます。
- ステップ4 データストア サイズを指定します。ドロップダウンリストから、[GB] または [TB] を選択します。
- ステップ5 データのブロックサイズを指定します。HX Connect から、[8K] または [4K] を選択します。デフォルトは 8K です。HX Data Platform Plug-inでは、デフォルトが想定されます。VDI ワークロードの場合、デフォル トは 4K です。
- **ステップ6** [OK] をクリックして変更を確定するか、[Cancel] をクリックして変更を取り消します。
- **ステップ7** データストアを確認します。必要に応じて [Refresh] ボタンをクリックし、新しいデータストアを表示します。

HX Data Platform Plug-in で、[Manage]>[Datastores]>[Hosts] タブをクリックして、新しいデータストアの マウント状態を確認します。 vSphere クライアント アプリケーションを介してデータストアを確認する場合、[*host*] > [Configuration] > [Datastores] で、[Drive Type] が Unknown として表示されます。この vSphere の動作はあらかじめ見込まれ ており、NFS データストアを不明としてリストするためのものです。

データストアの編集

HXのデータプラットフォームのデータストアは、編集(鉛筆)オプションを使用して変更で きます。編集オプションは次のとおりです:1データストア名を変更するか、2にします。デー タストアのストレージの割り当ての変更。つまり、データストアのサイズ変更。



(注) コントローラ VM を使用してデータストアの名前を変更しないでください。

- ステップ1 インターフェイスを選択します。
 - vSphere Web クライアント ナビゲータから、[vCenter Inventory Lists] > [Cisco HyperFlex Systems] > [Cisco HX Data Platform] > [*cluster*] > [Manage] > [Datastores] の順に選択します。
 - •HX Connect から、[データストア(Datastores)]を選択します。
- ステップ2 [datastore] を選択します。
- **ステップ3** データストアをマウント解除します。

データストアのサイズだけを変更した場合は、データストアをマウント解除する必要がありません。この ステップをスキップします。

- **ステップ4** データストアの [Edit] (鉛筆アイコン) をクリックします。
- ステップ5 データストアの名前および/またはサイズを必要に応じて変更します。[OK] をクリックします。
- **ステップ6**以前マウント解除したデータストアを再マウントします。

データストアのマウント

データストアのマウント準備。

- •VM、テンプレート、スナップショット、CD/DVD イメージはデータストアには存在しま せん。これは、マウント解除時の最も一般的なエラーです。
- ストレージ I/O 制御はデータストアでは無効です。
- ・データストアは、vSphere HA ハートビートには使用されません。

- データストアは、ホスト RDM メタデータ ファイルには使用されません。RDM はサポートされていません。
- データストアは、スクラッチのロケーションとしては使用されません。



 (注) ESXiの永続的なスクラッチ ロケーションの宛先として NFS デー タストアを選択することはできません。永続的なスクラッチ ロ ケーションに HX データストアを選択すると、ESXi ホストのリ ロード後に削除されます。

> すべての M5 サーバについては、スクラッチとして使用するため にM.2 ブート SSD が自動的に選択されます。これは、新しいイン ストールのボックスから設定されます。

> HX240M4(非 SED)の場合、固定ログ/スクラッチに Intel SSD が使 用されます (220M5/240M5 では同じですが、異なるローカル SSD にも適用されます)。

HX220M4 および HX240M4 (SED) の場合、スクラッチ パーティ ションを保存する場所はありません。そのため、唯一のオプショ ンは、ネットワーク上の永続的なロギングに syslog を使用するこ とです。

データストアのマウント。

- ステップ1 インターフェイスを選択します。
 - vSphere Web クライアントナビゲータから、[vCenter Inventory Lists] > [Cisco HyperFlex Systems] > [Cisco HX Data Platform] > [*cluster*] > [Manage] > [Datastores] の順に選択します。

•HX Connect から、[データストア(Datastores)]を選択します。

- ステップ2 [datastore] を選択します。
- ステップ3 [Mount] をクリックします。
- ステップ4 データストアのマウントを確認し、[OK] をクリックします。

データストアのマウント解除

データストアのマウント解除の準備。

- VM、テンプレート、スナップショット、CD/DVD イメージはデータストアには存在しま せん。これは、マウント解除時の最も一般的なエラーです。
- •ストレージ I/O 制御はデータストアでは無効です。

- ・データストアは、vSphere HA ハートビートには使用されません。
- ・データストアは、ホスト RDM メタデータ ファイルには使用されません。RDM はサポートされていません。
- データストアは、スクラッチのロケーションとしては使用されません。

データストアのマウント解除。

ステップ1 インターフェイスを選択します。

vSphere Web クライアントナビゲータから、[vCenter Inventory Lists] > [Cisco HyperFlex Systems] > [Cisco HX Data Platform] > [cluster] > [Manage] > [Datastores] の順に選択します。

•HX Connect から、[データストア(Datastores)]を選択します。

- **ステップ2** [datastore] を選択します。
- ステップ3 [Unmount] をクリックします。
- ステップ4 データストアのマウント解除を確認し、[OK] をクリックします。
- ステップ5 必要に応じて部分的なマウント解除から回復。
 - a) 上記のチェックリストに従って、UI または CLI のいずれかを使用してマウント解除するか削除しま す。
 - b) データストアを再マウントするには、UIまたはCLIを使用します。

ー部のマウント解除の詳細または回復については、部分的にマウント解除されたデータストアの回復(6 ページ)を参照してください。

データストアの削除

データストアを削除する準備をします。

- ・すべての VM の電源をオフにします。
- データストアマウントポイント上のすべてのオープンシェルを閉じます。
- ・データストアのHAを無効にします。
- •データストアを使用するすべてのアプリケーションを閉じます。

データストアを削除します。

ステップ1 インターフェイスを選択します。

vSphere Web クライアントナビゲータから、[vCenter Inventory Lists] > [Cisco HyperFlex Systems] > [Cisco HX Data Platform] > [*cluster*] > [Manage] > [Datastores] の順に選択します。

部分的にマウント解除されたデータストアの回復

•HX Connect から、[データストア(Datastores)]を選択します。

- ステップ2 [datastore] を選択します。
- ステップ3 [Delete] をクリックします。
- ステップ4 データストアの削除を確認し、[OK] をクリックします。

部分的にマウント解除されたデータストアの回復

データストアをマウント、マウント解除、または削除すると、データストアが部分的にマウン ト解除される場合があります。この状態が発生した場合は、必要に応じて、次の手順を実行し ます。

- **ステップ1** 試みているタスクに応じて、データストアのマウントの準備、データストアのマウント解除の準備、また はデータストアの削除の準備にある項目を実行します。
- ステップ2 もう一度、HX Connect または HX Data Platform Plug-in の UI または CLI を介して、データストアのマウント、マウント解除、削除を試します。
- **ステップ3** データストアが、必要なマウント状態、マウント解除状態、または削除状態になっていない場合は、次の 手順を実行します。
 - a) VM がデータストアで実行されていないことを確認します。
 - b) ESX ホストから、HX Data Platform のデータストアが VMware サービス storageRM で使用されているか どうかを確認します。

```
# ls -ltra /vmfs/volumes/stfs-ds1/ | grep -i iorm
```

サンプル応答

-rwxr-xr-x 1 root root 16511 Jan 20 20:05 .iormstats.sf drwxr-xr-x 1 root root 1125 Jan 20 20:06 .iorm.sf

c) storagerm のステータスを確認します。

```
# /etc/init.d/storageRM status
```

サンプル応答

storageRM is running

d) storagerm サービスを停止します。

/etc/init.d/storageRM stop

サンプル応答

watchdog-storageRM: Terminating watchdog process with PID 34096 storageRM stopped

- e) もう一度、データストアのマウント、マウント解除、または削除を試みます。
- f) 可能なソリューションはこれ1つです。これで問題が解決しない場合は、テクニカルアシスタンス セ ンター(TAC)にお問い合わせください。

I